



ある坊守さんのお浄土への門出を見送るお葬儀に参らせていただきました。飾らずさっぱりと生きられたあなたの人柄でしょうか。本当に大勢の人々が参列下さっていました。

がんの治療中も力まず悲愴感もなく受けておられましたね。連れ添いのご院家さんが「安心か」と聞いたら「頷いた」と言っておられました。22才で在家から寺へ嫁がれて「どうしたらお念仏が出るん？」と問われた時にもご院家さんは「それは一人一人自分で見つけるよりない」と答えたそうですが、どの位経ってから「日差しを浴びて草刈をした」苗を植えたりしてたら、自然にお念仏が出てきたわ、と言われたそうです。願わくば自然のお念仏に出遇われたのですね。

その人の生き方を讃え、別れを惜しみ「先に往って待っていてくれ」と死の扉が開かれた明るさの感じられるお葬儀でした。お孫さんの無量くんがこらえきれずに肩をふるわして泣いている姿が忘れられません。Sさん、ありがとう。

○ご遠忌お待受け南法会 3月9日午後1時半～
カ三回「宗祖の向い」伊藤元先生
南法に通って下さいますようお待ちしております。
勝福寺